

東日本大震災被災地復興支援のための募金活動について

2011年3月11日、あの震災から4年半が経ちました。

大切な人を失った悲しみを抱えたままの人、今も仮設住宅に暮らす人、慣れない土地や仕事で頑張る人。被災地では、今でも大変な時間が続いています。

私たち三年生は、修学旅行で実際に被災地である宮城県名取市閑上地区を訪問しました。そこで語り部さんの話を聞いたり、被災地した建物や助かった場所を見学しました。なかなか復興していない状況を目の当たりにして何か私たちにできることはないかと考えました。

そこで、私たちは募金活動をしようということになりました。復興を支援する思いが込められた募金活動にぜひご協力をお願いします。

3年生一同

(宣言文)

私たちは、被災地にこころ寄せ、復興のために力を合わせます。

私たちは、東日本大震災を風化させないため、さまざまな取り組みを行います。

- ・募金活動
- ・講演会
- ・支援活動
- ・語り継ぎ
- など

鹿工祭当日、土木実習棟2階の工業基礎室(渡り廊下前の教室)にて、被災地の写真展示と募金活動を行います。

この募金は、宮城県名取市閑上地区にある「^{ゆりあげ}閑上の記憶」の運営資金に充ててもらおう予定です。



^{ゆりあげ}
「閑上の記憶」では

慰霊碑を守りながら、地元で被災された方々が語り部や案内人として、震災やいのちの大切さを伝える取り組みに特に力を入れています。今回の震災でたくさんの方が亡くなり、痛切に知らしめられた「いのちの大切さ」。特に次世代を担う子どもたちへの震災学習を積極的に行っています。(HPより)